



< 新着案内 >

Vol.065

里帰り陶磁器の世界

～近代輸出陶磁器の幕開け～

明治・大正時代の

さがえり

里帰り陶磁器について

明治・大正時代、日本から様々な美術工芸品が

外貨獲得のために欧米諸国へ輸出されました。

陶磁器では薩摩焼、隅田焼、横浜焼、瀬戸焼、有田焼、九谷焼、オールドノリタケ等多くの名品が海を渡りました。

近年、この明治・大正時代に輸出された美術工芸品が

日本へ逆輸入されています。

この逆輸入品は「里帰り陶磁器」「里帰り品」と呼ばれております。

約百年の時を経て日本へ戻ってきた里帰り陶磁器は、現在では再現不可能と言われている高い技術や装飾性などから世界中から再評価されています。

当社では里帰り陶磁器の魅力を伝えるため

里帰り陶磁器専門店として様々な陶磁器を

欧米諸国から里帰りさせています。

明治・大正時代の職人技が光る日本の素晴らしい陶磁器を皆様に知って頂ければ幸いです。



U6601

オールドノリタケ

エッチング花文花瓶

1911年頃 - 1921年頃

H : 29cm L : 15cm W : 15cm

671,000円 (税込)

「オールド・ノリタケ名品集」(大賀弓子・若林経子編・2001・平凡社)のP50に掲載



U6604

オールドノリタケ

金盛り風景文飾壺

1906年頃 - 1925年頃

H : 24cm L : 8cm W : 12cm

228,800円 (税込)



U6610

オールドノリタケ

薔薇文水差

1911年頃 - 1921年頃

H : 14cm L : 12cm W : 12cm

125,400円 (税込)



U6612

オールドノリタケ

スマイレ文キャンディーボウル

1906年頃 - 1921年頃

H : 3cm L : 16cm W : 16cm

46,200円 (税込)



U6612

オールドノリタケ

金盛り花文花瓶

1891年頃 - 1915年頃

H : 9cm L : 12cm W : 12cm

138,600円 (税込)



U6625

オールドノリタケ

金彩薔薇文シュガーポット

1906年頃 - 1921年頃

H : 10cm L : 12cm W : 16cm

97,900円 (税込)



U6671

オールドノリタケ

ビーディング薔薇文花瓶一对

1900年頃 - 1910年頃

H : 9cm L : 13cm W : 13cm

207,900円 (税込)



U6673

オールドノリタケ

龍盛上花瓶

1911年頃 - 1921年頃

H : 14cm L : 6cm W : 12cm

309,100円 (税込)



U6689

オールドノリタケ

花文カップ&ソーサー

1906年頃 - 1925年頃

H: 5cm W: 10cm D: 14cm

106,700円 (税込)



U6690

オールドノリタケ
窓絵花風景文カップ&ソーサー

1906年頃 - 1925年頃

H: 5cm W: 11cm D: 14cm

106,700円 (税込)



U6675

薩摩焼

人物群蝶文酒器

銘：錦光山

H：8cm L：5cm W：6cm

303,600円（税込）

〈錦光山宗兵衛の主な受賞歴〉
1875年：第4回京都博覧会（銅牌）
1879年：シドニー万博（銅牌）
1881年：第2回内国勸業博（銀牌）
1889年：パリ万博（銀賞）
1900年：パリ万博（金賞）
1904年：セントルイス万博（大賞）



U6600

隅田焼

高浮彫花図鉢

銘：良齊

H：7cm L：11cm W：11cm

107,800円（税込）



U6628

瀬戸焼

花文水差

銘：春光製

H：10cm L：9cm W：9cm

236,500円（税込）

〈加藤春光〉

瀬戸・南新谷で創業した窯元で、初代春光は1875年に開窯。1882年には森村組と取引を開始しています。また、自ら春光という染付け銘を持ち純日本風の画風で知られる絵付け工場でもあり、内国勸業博覧会などで数々の賞を受賞しています。



U6692

九谷焼

人物風俗文花瓶

銘：大日本九谷製

H：8cm L：5cm W：5cm

303,600円（税込）



U6615

オールド・ニッポン
コラレン花文花瓶

銘：U.S.PATENT NBR.912171 FEB.9.1909

H：11cm L：15cm W：15cm

757,900円（税込）

〈コラレン〉

英語で、「珊瑚のような」という意味があります。磁器を絵具で塗りつぶし、デザインにあったガラスビーズを貼り付けた後に、金彩で囲んで仕上げるといったとても複雑で精緻な技術が必要とされるため、作陶は困難を極めた技法の一種です。



U6691

松風陶器

龍盛り上げ花瓶

銘：SHOFU MADE IN JAPAN

H：12cm L：7cm W：8cm

80,300円（税込）

〈松風陶器〉

京都の3代松風嘉定が輸出向けの磁器の製造を目的として1906年に京都に設立した会社です。



U6695

瀧藤商店

龍盛上カップ&ソーサー

銘：TT HAND PAINTED MADE IN JAPAN

H：7cm W：9cm D：12.5cm

79,200円（税込）

〈瀧藤商店〉

瀧藤萬次郎が1874年に名古屋に創設した会社で、欧米向けの洋食器の絵付加工場を開設しています。1893年のシカゴ万博に愛知県代表として渡米しています。1899年には治三郎が後を継ぎました。ニューヨーク、シカゴ、シアトル等に支店を開設し盛業でした。

< 装飾技法解説 >

■ 盛り上げ

機械文明に支えられて成長してきたアメリカにとって、盛り上げはハンドメイドの優しい温もりを表現したのとして人気があります。その人気は欧米でも「MORIAGE」と表記されるほどです。職人の精緻な装飾技術は、現代では再現不可能であり、見れば見るほど圧倒される技術です。オールドノリタケの最大級の特徴ともいえます。

■ タペストリー

一般的には、生地の上に麻布を張って焼成することで、布のみが焼かれ、布目模様の生地を完成させます。ノリタケの場合は2種類の方法があり、焼成前の柔らかな生地に布目を押し当てて模様をつけるものと、モールド技法により布目模様をつけるものがあります。

■ ビーディング

ビーディングとは、盛り上げ技法の一種です。細かく点状に盛り上げ、その上に金彩を施した丹念な職人技です。同じ様に、ガラス分の多い絵の具を使って青色で点状に盛り上げ装飾したものを「アクアビーディング」と呼んでいます。現在の技術や採算の面から、再現不可能といっても過言ではない装飾技法です。

■ 金盛り

金盛りは、点、点線、線などを泥漿で描き、焼成した後に金液を筆などで塗り被せて仕上げる技法です。欧米では人気のあった豪華絢爛な装飾技法で、高級品によく用いられました。金液は、濃塩酸と濃硝酸を体積比3対1に混ぜた溶液で金の延棒を溶解したものを使用していました。

■ モールド

石膏型に泥漿を流し込んで生地を成型する装飾技法です。立体的な表現で、従来にない絵付けが施されています。絵柄も迫力あるものからかわいらしいものまで幅広く制作されています。アメリカで人気を博していましたが、イギリス向け製品にはほとんど見られない技法です。

■ コラレン（珊瑚のような）

装飾技法の一種です。磁器を絵具で塗りつぶし、デザインにあったガラスビーズを貼り付けた後、金彩で囲んで仕上げるという複雑な装飾技法です。ガラスビーズが施された部分は光の入る角度によって、色が変化し浮き上がって見えるため趣を異にする面白さがあります。

< 主要参考文献 >

- 「オールド・ノリタケ名品集」 大賀弓子・若林経子 編 2001 平凡社
- 「オールド・ノリタケと日本の美」 大賀弓子 編 2002 平凡社
- 「華麗なるオールドノリタケの世界」 森川崇洋 2003 マリア書房
- 「甦る白瑠璃コラレン」 井谷善恵 2007 平凡社
- 「オールドノリタケと国産アンティークコレクターズガイド」 木村一彦・葵航太郎 2008 トンボ出版
- 「近代陶磁の至宝 オールド・ノリタケの歴史と背景」 井谷善恵 2009 里文出版
- 「オールド・ノリタケのアール・デコ」 井谷善恵 2008 平凡社
- 「ノリタケデザイン100年の歴史」 2007-2009 朝日新聞社
- 「ノリタケ100年史」 2005 株式会社ノリタケカンパニーリミテッド
- 「Early Noritake」 1996 株式会社ノリタケカンパニーリミテッド
- 「ノリタケミュージアム 収蔵品公式図録」 2019 ノリタケミュージアム
- 「世紀の祭典 万国博覧会の美術」 2004 日本経済新聞社
- 「幕末明治の貿易陶磁 薩摩錦手」 大森一夫 1993 創樹社美術出版
- 「SUMIDA 生命力溢れる隅田焼の世界」
- 「清水三年坂美術館コレクション SATSUMA」 2015 清水三年坂美術館
- 「Art Deco Noritake & More」 David Spain 2004 Schiffer Book
- 「VAN PATTEN' S ABC' s of COLLECTING NIPPON PORCELAIN」 J.V.Patten 2005 COLLECTOR BOOKS
- 「Noritake for Europe」 Pat Murphy 2001 Schiffer Book

< 会社案内 >

会社名	敬誠株式会社
代表者名	取締役社長 馬渡増賢
所在地	千葉県我孫子市台田4-11-42 敬誠北柏ビル
電話番号	04-7179-0116
ファックス	04-7179-6363
メール	shop@old-noritake-antique.com
設立年月	1981年12月
資本金	3,200万円（払込資本金）
従業員数	20名
決算期	3月
取引銀行	みずほ銀行（小舟町支店）、三菱東京UFJ銀行（柏支店）
取扱品目	半導体・電子部品の販売 明治・大正時代の里帰り陶磁器の販売
営業時間	10時～18時
駐車場	完備
公式HP	https://www.old-noritake-antique.com/
古物許可証	千葉県公安委員会 第441370000534号
PL保険	加入済
共通取引先コード	668281

< ショールームのご案内 >



約3,000点の薩摩焼、横浜焼、隅田焼、瀬戸焼、有田焼、九谷焼、コラレン、オールドノリタケ等の明治・大正時代に欧米に輸出された里帰り陶磁器を展示・販売しています。カップ&ソーサーや茶器、皿・プレート、ボウル、小物入れ、花瓶、飾皿等様々な食器、装飾品があり、お客様の暮らしに彩りを添えてくれます。1万円前後のものからご用意しておりますので、初めての方でもお気軽にご来店下さい。普段、なかなか目にする機会がない「里帰り陶磁器の世界」を是非、お楽しみ下さいませ。スタッフ一同お待ちしております。

展示品以外にも、ホームページやオンラインショップに掲載の商品もご覧いただけますので、お気軽にお立ち寄り下さい。



Keisei Art

オールドリタケ専門店